

東庄町 消防団

わがまちを守る

東庄町消防団は、現在229名で組織し、東庄町で発生する各種災害に出動し、消防署と連携し活動しています。平時においても、火災や風水害等の災害に備えるため、基本的な消防訓練、消火連携訓練等、普通救命講習等、各種訓練の実施や東庄ふれあいまつりでは防災に関する普及啓発活動を実施しています。

ここで東庄町消防団の主な年間行事をご紹介します。

4月 春季消防訓練



規律訓練、防火衣着訓練、資器材取扱い訓練、ホース延長訓練、放水訓練、機関員講習等の基本的な消防訓練を実施しています。

5月 ポンプ点検



専門業者による各地区の小型ポンプ、ポンプ車の状態を点検し、災害に備えます。

1月 消防出初式



新年の最初に行われる式典。永年にわたり消防業務に精励された消防団員を表彰しています。

6月 香取支部ポンプ操法大会



平時の訓練の成果を発表するとともに、消防操法技術の向上と士気高揚を図り、さらなる地域防災体制の確立を期すことを目的に、町の代表として出場しています。

9月 秋季消防訓練



山林火災など、水利が遠い場合はポンプを中継し火点まで送水する必要があります。黒部川右岸にて、約500メートルの中継送水訓練を実施しています。

11月 普通救命講習



応急手当指導員の資格を持つ消防団員が指導者となり、受講者の消防団員にAEDの取り扱いを含む心肺蘇生法等の講習を実施しています。

女性消防団員 活躍中!!



普通救命講習の指導を行うほか、東庄ふれあいまつりにおいて、防災セットや各種リーフレットを配布しました。

このほかにも、各部において歳末広報活動や、防災施設への視察研修なども行っております。「わがまちを守る」をモットーにこれからも活動してまいります。

香取広域市町村圏事務組合
東庄分署 ☎86-1150

お知らせ

毎月第3日曜日に「普通救命講習会」を定期開催しています。心肺蘇生法、AEDの使い方、口腔内異物除去などを、実技を交えて分かりやすくお伝えしています。開催時間や会場、申込方法は、香取消防のホームページや広報欄でご確認ください。



消防は、火災、救急、救助だけでなく、火災予防や災害への備えなど、24時間体制で地域の安全を守っています。一方で、大きな災害の際には、消防などの公的な力だけでは限界があり、「自分の身は自分で守る自助」と「地域で助け合う共助」が欠かせません。

「自助・共助・公助」で守る防災力

自助 自分と家族を守る

住宅用火災警報器の設置・点検、家具の固定、避難先と連絡方法の確認が自助の基本です。自助の力を高めてもらうために、救命講習会を実施しています。

共助 地域で支えあう

共助とは、ご近所や地域の人たちが、お互い支え合い、助け合うことです。大規模災害では、最初の救助の多くが近隣住民などによる共助によって行われたことが、過去の震災調査からわかっています。

- ・自主防災組織や消防団による防災訓練
- ・防災マップづくりや危険箇所の情報共有
- ・平時からのあいさつや声かけなど、顔の見える関係づくり

公助

国や県、市町村などの行政機関や消防・警察などが行う公的な支援救助や復旧活動

人命を最優先に、地震・風水害などの災害から、人を助け被害を小さくし、地域の安心を回復することが役割です。大きな事故で多数のけが人が発生した場合などを想定した訓練も定期的を実施しています。また、令和10年水難・救助隊発足に向けての体制づくりも進めています。



多数傷病者対応訓練



東庄町防災演習

119番通報のポイント

救急車を呼ぶ前に考えよう

いざというときの公助につながるのが119番通報です。ちば消防共同指令センターで、香取広域消防本部を含む千葉県北東部・南部の20消防本部の119番通報を受信。出動部隊を一元管理し、隣接市町村への応援や大規模広域災害への迅速、的確かつ効率的な活動を行うことが可能となっています。通報するときは、落ち着いて次の3つをお伝えください。

「何があったのか」「どこで起きているのか」「だれ(なに)が、どのような状態か」

近年、救急出動件数が増加し、救急車が現場に到着するまでの時間がかかっています。そのため、救急車が本当に必要ですか?など、救急車の適正利用も呼びかけています。



消防は、皆さん一人ひとりの自助と地域の共助の担い手として、これからも24時間、365日、地域の安全と安心を守り続けます。

図 香取広域市町村圏事務組合 東庄分署 ☎86-1150